第14講　幕藩体制の崩壊
PART3 天保の改革

Chapter 1　天保の改革

目標
三大改革の主導者のうち，水野忠邦が不利だった点は何だろう？
天保の改革が失敗したのはなぜだろう？

1　天保の改革の性格と経済対策

水野忠邦

大御所家斉の死後，

12代将軍家慶の初期治世が〔1　　　　　　　　〕。

老中首座の浜松藩主〔2　　　　　　　　〕が，

幕府権力の再建･強化を目指し強引に推進。(1841 ～ 43年)

①性格

絶対主義。享保・寛政の改革を手本に強力なリーダーシップ発揮を試みるが，

譜代大名の老中では軽すぎた。

②生活の緊縮

A　倹約令　将軍・大奥を含めた断固たるもの

B　風俗取締り令

町奉行鳥居耀蔵が中心となり推進，江戸における経済活動の停滞を招いた。

※芝居小屋の浅草への移転，歌舞伎役者に編笠着用を強要，寄席の大量取り潰しなど。

C　出版物の取締まり

為永春水『春色梅児誉美』(**人情本**)，**柳亭種彦**『偐紫田舎源氏』(**合巻**) を発禁処分。

③農村復興策

A　**人返しの法** (1843年)

江戸の人別改めを強化し，農民の出稼ぎ禁止・流入貧民の帰村を**半強制**。

※江戸の人口抑制・治安維持と荒廃した関東農村の復興を図るが，

江戸を追われた無宿人らにより治安が悪化して失敗した。

B　印旛沼の干拓 (1843年)

田沼時代に引き続き試みたが，天保の改革の頓挫により中断。

④経済統制→物価引下げ令も発する

A **株仲間解散令** （1841年）→10年後に撤回

物価引下げと商品流通の直接統制を目指すが，逆効果となり混乱を招き失敗。

B 棄捐令 （1843年）→旗本・御家人の救済策

2 政治・外交政策と天保の改革の結果

徳川家慶

①対外政策の緩和

アヘン戦争（1840～42年, ○イギリス VS 清●）の結果を受け**異国船打払令を撤回**し，〔3 〕を発布（1842年）。

②政治統制

A 西洋砲術の採用→アヘン戦争勃発が背景

長崎から**高島秋帆**を招き，江戸郊外の徳丸ヶ原で西洋砲術の訓練を実施（1841年）。

B 三方領知替えの撤回（1841年）

相模国の海岸防備を担わせていた川越藩（武蔵国）の財政難救済のため，

川越藩→庄内藩（出羽国），庄内藩→長岡藩（越後国），長岡藩→川越藩の転封を

決定したが，幕閣の内部対立や庄内藩の反対一揆により，翌年撤回。

C 将軍家慶による67年ぶりの日光社参（1842年）→幕府・将軍の権威強化を目指す

大出費による財政悪化と，動員された大名・農民の不満を招く。

D 〔4 〕**（1843年）**

領地支配が錯綜していた**江戸・大坂周辺約50万石の幕領編入計画**。

幕府権力の強化・年貢収入の増加・対外防備の強化を意図したが，

譜代大名・旗本の反対により撤回。

③結果

過度の強引さ・厳しさにより，世人の不満が爆発し失敗。**幕府は決定的に衰退**。

まとめ

水野忠邦は将軍でも親藩でもない，譜代大名だった。

天保の改革は，手遅れ状態の幕府権威の強引な復活を図り失敗した。

Chapter 2　江戸時代後期の藩政改革

目標
江戸後期の藩政改革の大きな特徴は何だろう？
藩政改革に成功した藩の地域的な共通点は何だろう？

1　西南雄藩の藩政改革

特に**薩長土肥**は，幕末・維新期に〔1　　　　〕として人材を輩出。

①特色

A　中・下級藩士の有能者を登用

B　借財を整理し国産品栽培奨励や藩**専売制**・藩営工業を実施

C　領民抵抗の圧伏と軍事力の強化

②**薩摩藩〔鹿児島藩〕**→外様

藩主島津斉興の祖父重豪が下級藩士の〔2　　　　〕を登用。

A　財政再建

あ　三都商人からの莫大な借財を事実上棚上げ

い　奄美諸島特産の黒砂糖の専売を強化

う　琉球王国を通じた清との**密貿易**を拡大→幕府に咎められ調所が切腹

B　軍事改革（幕末期）

あ　**島津斉彬**の代に反射炉・兵器工場・造船所・ガラス製造所を建設

い　続く忠義の代にイギリス人の指導で鹿児島紡績工場も完成

う　**長崎のイギリス人商人**〔3　　　　〕から洋式武器を購入

③**長州藩〔萩藩〕**→外様

1831年の防長大一揆を契機に藩主毛利敬親が〔4　　　　〕を登用。

A　莫大な借財を整理

B　紙・蠟の専売制を改革

C　**越荷方**の強化→下関（長門国）に設置

北前船などの本来上方に運ばれる積荷（= 越荷）を対象に

委託販売・貸倉庫・金融を行い，その収益は洋式軍艦購入費にもあてられた。

④**土佐藩〔高知藩〕**→外様

藩主山内豊熙が中・下級藩士の改革派「おこぜ組」を登用。

財政を緊縮し商業資本と絶縁して一定の成果をあげるが，保守派に抵抗され中断。

※のち**山内豊信〔容堂〕**が吉田東洋ら「新おこぜ組」を登用し，国産品の専売を強化。

⑤**肥前藩〔佐賀藩〕**→外様

藩主〔5 〕**〔閑叟〕**自らの改革，人材登用も積極的に行う。

A 財政の安定

あ **均田制**を実施し土地を再分配

い 有田焼〔伊万里焼〕・石炭の専売制を強化

B 軍事改革

あ 洋学・西洋砲術の積極的導入

い 日本初の反射炉を備えた**大砲製造所**を建設（1850年）

2 他藩の改革と幕府

①**水戸藩**→親藩〔御三家〕

藩主**徳川斉昭**が，藤田東湖・会沢安〔正志斎〕ら尊王論者を登用。

洋式軍事改革・海防強化・藩校**弘道館**の設立・反射炉の設置などを行うが，

保守派の反対などにより挫折。

※藩主を退いた後も，江戸の石川島に造船所を建設。

②その他

親藩である**越前藩〔福井藩〕**の**松平慶永〔春嶽〕**，

外様である**宇和島藩**の**伊達宗城**などが，

有能な中・下級藩士を藩政の中枢に参加させて改革を推進。

韮山反射炉

③幕末期の幕府

1845年，老中首座に復帰していた水野忠邦が再度罷免され，

福山藩主〔6 〕が後任となる。

※韮山代官**江川太郎左衛門〔坦庵〕**に命じ，伊豆国韮山に〔7 〕を築かせる。

まとめ　江戸後期の藩政改革では，中・下級藩士の人材登用が進んだ。
西日本の藩のいくつかが改革に成功して雄藩と呼ばれた。

第14講　PART3　確認問題

1 天保の改革が行われたときの将軍はだれか。

① 徳川家治　② 徳川家斉
③ 徳川家慶　④ 徳川家綱

2 『春色梅児誉美』を著し，天保の改革で取締まりを受けたのはだれか。

① 稲村三伯　② 為永春水
③ 柳亭種彦　④ 高島秋帆

3 西洋砲術の訓練を実施するため，幕府に招かれたのはだれか。

① 為永春水　② 高島秋帆
③ 大原幽学　④ 柳亭種彦

4 天保の改革で立てられた江戸・大坂周辺約50万石の幕領編入計画はどれか。

① 上知令　② 棄捐令
③ 薪水給与令　④ 人返しの法

5 反射炉・兵器工場・造船所・ガラス製造所を建設した薩摩藩主はだれか。

① 島津重豪　② 島津斉興
③ 島津久光　④ 島津斉彬

6 長州藩の藩主毛利敬親が登用したのはだれか。

① 阿部正弘　② 調所広郷
③ 藤田東湖　④ 村田清風

7 均田制を実施し，日本初の反射炉を備えた大砲製造所を建設したのはどこか。

① 肥前藩　② 土佐藩
③ 長州藩　④ 水戸藩

8 次のうち，水戸藩の藩主はだれか。

① 鍋島直正　② 徳川斉昭
③ 松平慶永〔春嶽〕　④ 山内豊信〔容堂〕

第14講 PART 3　確認問題 解答

1 解答：③　**徳川家慶**は，大御所家斉の死後，12 代将軍となった。

2 解答：②　③の**柳亭種彦**は『偐紫田舎源氏』（**合巻**）が発禁処分となった。

3 解答：②　西洋砲術が採用されたのは，アヘン戦争勃発が背景にある。

4 解答：①　**上知令**は，幕府権力の強化・年貢収入の増加・対外防備の強化を意図したが，譜代大名・旗本の反対により撤回された。

5 解答：④　①の島津重豪は**島津斉彬**の曽祖父，②の島津斉興は斉彬の父，③の島津久光は斉彬の異母弟。

6 解答：④　①の**阿部正弘**は水野忠邦が再度罷免された後，老中首座に就いた。②の**調所広郷**は薩摩藩に登用された下級藩士，③の藤田東湖は水戸藩に登用された尊王論者。

7 解答：①　**肥前藩**では，藩主の**鍋島直正**が自ら改革を実施，人材登用も積極的に行った。

8 解答：②　①の鍋島直正は肥前藩主，③の**松平慶永〔春嶽〕**は越前藩主，④の**山内豊信〔容堂〕**は土佐藩主。